

家庭における節水を進めるためには、家庭における節水方法を具体的に知っておく必要があります。以下に、生活の場面ごとの節水方法を紹介します。

それぞれの節水方法のうち、節水効果が高く、取り組みやすい節水方法を必要に応じて選択し、紹介するなど活用することができます。

## 家庭における「節水」あれこれ

### 1 節水を習慣にするために

水を使わない日はないほど、私たちはあらゆる生活の場面で水を利用しています。だからこそ、まず節水の習慣を身に付け、水をできるだけムダなく使う工夫が大切です。



#### ○蛇口はこまめに締める・出しすぎない **★★特におすすめ★★**

流しっぱなしにすると1分間で約6リットルの水が出ます。5分間流しっぱなしをやめると、約30リットルの水が節約できます。また勢いよく出すと1分間で約12リットルの水が出ます。

#### <お役立ち節水グッズ>

#### ○節水コマをつける **☆おすすめ☆**

節水コマとは、蛇口に取り付け、出る水の量を調整するもので、全開にしたときの水量は普通コマと変わりませんが、開き具合によっては最大50%の節水効果があります。市町村によっては、希望者に無料で節水コマを配布しているところもあります。（市場価格：100円／個～）

#### ○節水ハンドルをつける

水道の栓に取り付け、栓を開くと一定のところでハンドルがうしろの壁にあたり、必要以上に水が出ないようになります。（市場価格：700円～）

### 2 お風呂での節水

家庭では、お風呂に最も多く水が使われています。必要な分だけ使う工夫や、残り湯の再利用がお風呂における節水のカギです。



#### ○シャワーはこまめに締める **★★特におすすめ★★**

流しっぱなしにすると、1分間で約12リットルの水が流れます。

1人あたり1年間で約22立方メートル(21,840リットル)、約3,600円の節約(シャワーを1日に1度、15分のところをこまめに閉めて10分間で済ませた場合)

#### <お役立ち節水グッズ>

#### ○風呂水汲み上げポンプを使う **☆おすすめ☆**

お風呂の残り湯を楽にくみ上げるポンプです。残り湯を洗濯や散水などに再利用する際に便利です。（市場価格：1,500円～）

### ○風呂ブザーを使う ☆おすすめ☆

ためすぎや沸かしすぎがないように、お風呂の温度や水量をあらかじめ設定すれば、ブザーが鳴り、知らせてくれます。また、水量を自動的に止める機器もあります。(市場価格:1,000円～)

### ○節水シャワーヘッドを使う ☆おすすめ☆

少なめの水量でも通常のシャワーの勢いを保つシャワーヘッドや手元のボタンで水を出したり止めたりすることのできるシャワーヘッドがあります。(いろいろなシャワーに取り付けられるようアダプターが付いています。)(市場価格:1,000円～)

## 3 洗濯での節水

洗濯機で少しの量を洗濯するのは、水のムダになります。まとめ洗いの心がけ、機種による洗い方の工夫が節水につながります。



### ○まとめ洗いをする ★★特におすすめ★★

1年間で約17立方メートル(16,750リットル)、約2,800円の節約

(少量の洗濯ものをその都度洗う場合と、2回を一度にまとめて洗う場合の比較)

### <お役立ち節水グッズ>

### ○節水型洗濯機を使う ☆おすすめ☆

風呂水の給水機が設置されたものがあります。また、機種によって使用する水の量が違いますので、購入の際には水使用量の少ないものを選びましょう。ドラム式の洗濯機は従来の渦巻き式に比べ水の使用量が少なくて済みます。

## 4 台所での節水

料理をしながらうっかり水を出しっぱなし、ついつい勢いよく水を出してしまう、ということはありませんか？出しすぎないこと、ため洗いをするのが台所での節水のポイントです。また、排水の際にもできるだけ汚れた水を流さないよう気を配りましょう。



### ○適切な水量で、食器や野菜を洗う ★★特におすすめ★★

勢いよく出すと、1分間に約12リットルの水が流れます。適量を心がけましょう。

### ○ため洗いをする(食事の準備・後かたづけを行うとき) ☆おすすめ☆

食事の後かたづけの際、流し洗いでは1日120リットル、ため洗いでは約37リットルで、約83リットルも節水できます。

### <お役立ち節水グッズ>

### ○泡沫蛇口を取り付ける ★★特におすすめ★★

水道の蛇口に泡沫蛇口を取り付けると、空気と一緒に泡状の水が勢いよく出て、洗浄効果を高めます。約30%の節水効果があります。(市場価格:200円～)

## 5 トイレの節水

トイレでは、水が必要以上に流れないように工夫が節水のポイントです。

(機種によって有効な方法が違いますので注意しましょう。)



### ○大小切り替えレバーの使い分けをする ★★特におすすめ★★

レバーの「大」と「小」の水量の差は最小で約 2 リットルです。「小」で済む場合には「小」レバーを使いましょう。

## 6 洗面での節水

洗面所では、流しっぱなしにしない工夫が節水のカギです。

### ○はみがきにはコップを使う ★★特におすすめ★★

はみがきのとき、1 分間流しっぱなしにすると約 6 リットルの水が出ますが、コップを使えば 1 人 3 杯、約 0.6 リットルですみます。

### ○洗面には洗面器を使う ☆おすすめ☆

洗面のとき、流しっぱなしで 2 分間に約 12 リットル、洗面器を使えば 1 人 2 杯、約 6 リットルですみます。



## 7 植木の水やりでの節水

植木に水をやっているあいだ中、ホースから水を出しっぱなし、なんていうことがないように上手に道具を使いましょう。

### ○じょうろやバケツで水やりする ☆おすすめ☆

### ○米のとぎ汁を庭木や花、家庭菜園の水まきに利用する

### <お役立ち節水グッズ>

### ○手元制御弁を使う ☆おすすめ☆

ホースの先につけると、手で水を出したり止めたりすることができ、水の無駄遣いを抑えることができます。約 17%の節水効果があるといわれています。

(市場価格: 600 円～)



## 8 雨水利用

恵みの雨を利用した節水方法もあります。地下水を保つために、雨が地面に浸透する工夫も必要です。

### ○雨どいからつたってくる雨水をバケツやペールまたは雨水専用のタンクにため、庭の水まき、掃除・洗濯用水、洗車、野菜洗いなどに利用する ☆おすすめ☆



### <お役立ち節水グッズ>

#### ○雨水浸透ますを設置する

ますの壁面や底面が水を透しやすい構造になっており、土中に埋め込んで雨どいに接続することで、雨どいに流れ込んだ雨を地中に浸透させるものです。市町村によっては設置の助成を行っているところがあります。

## 9 洗車での節水

1度に大量の水を使う洗車。バケツを使うとだんぜん節水。

#### ○洗車はバケツやじょうろなどを使う ☆おすすめ☆

20分間ホースで洗車すれば、約240リットル、バケツ洗車なら5杯分約50リットル。一回で約190リットルも節水できます。



### <お役立ち節水グッズ>

#### ○手元制御弁を使う ☆おすすめ☆

ホースの先につけると、手元で水を出したり止めたりすることができ、水の無駄遣いを抑えることができます。約17%の節水効果があるといわれています。

(市場価格:600円~)